

# 双塔



新潟教会 2013年12月

No. 307

## 今年もありがとうございます

助任司祭 ナジ・エデルベルトゥス

「あなたは誰？」という質問を聞いたことがありますか。つい最近、私は天気情報を知るためにテレビをつけたら、画面から飛び込んで来たのはあの質問でした。全体の話、その次の話を知りませんが、12月の原稿を頼まれたのでテーマを探していた時に『となりのトトロ』という漫画の主人公からあの質問を聞きました。その時、これは忘年会と関係あるテーマだと思ったので嬉しく思いました。ぼけて同じ質問を自分が口にするようになる前に、まず今年中に頂いた恵みと出会った人を思い出し感謝をいたします。

忘れられ、見捨てられる心配は誰にでもあり、それを体験された方には寂しい思いををすると思います。それは人間的には人気者になりたい願望の逆になりますので、その願望の強い方はさらに寂しく感じるでしょう。日本の年末の忘年会には悲しい雰囲気と忘れられる心配は見当たりません。人事異動は次の年の春なので、秋の完成、“収穫”を喜び祝うような感じではないかと思います。春の花見と秋の忘年会は自分と共に歩んで来た仲間を歓迎する機会であり、美しい機会であると思います。その雰囲気を見るたびに「なんと美しいか。人間が仲良く物事を楽しむとは。朝露と香油のように」と、詩編133を思い出すでしょう。

イエス様は、神様が素晴らしい宴会を準備なさることを語りました。宴会に導く門は狭いです。さらに大勢の人が参加したいので、入るのはそれなりに難しくなります。「あなたを知らない」(ルカ13・27)という返事を受ける可能性もありますので、神様を畏れる人と共に歩み、特に12月の聖書の朗読に登場する聖家族に見習えばと思います。

聖家族、とくに幼子イエス様の最初の夜は羊飼いたちのところでした。羊飼いは律法学者たちの目から見ると、613の決まり、つまり365の避けるべきことと248の実行するべきことを果たすことが出来ない人たちであり、弱く貧しい人たちでした。清めの決まりを満たすことができないと神殿の境内で集うことができないので、喜びに満ちた宴会のようなものは不可能になります。しかし神様の計らいによって聖家族が彼らのところにいることで、彼らは神殿でよく聞かれる詩編より天使の素晴らしい歌を耳にすることができたということです。

小さな者の一人さえ喜んで受け入れる人はイエス様を受け入れることになり、イエス様を受け入れる人はイエス様に似るものになるので、神の準備された宴会に加わる時に「あなたは誰？」あるいは「あなたを知らない」などと言われることはないと思います。今月誰かそばに居たくない人や忘年会の仲間に入れたくない人のためにも祈りましょう。今月の7日と8日のクリスマスの準備の講話に与り、相応しい心でイエス様の御降誕のミサを迎え、年末に長生きの願いを示す年越しそばを食べる前に永遠の命であるイエス様の御体を頂けばと思います。慈しみ深い神に感謝、祈りを含めて支えてくださる信者の皆さんに、「今年もありがとうございます」。

## そよかせ 便り

### ■ 『避難訓練』 —— 10月27日（日） 10:40～ ——

秋晴れの日曜日。ミサ後に、避難訓練が行われ、約50名が参加。中央消防署の消防官のもと、希望者には消火器の体験も実施された。【消火器の使い方】①安全ピンを抜く ②ホースを火元に向ける ③レバーを握る 炎が天井まで届いたら、消火は不可能。身を屈めて、ハンカチなどで鼻を押さえ、速やかに 避難をするよう指導があった。



### ■ 第1回 『信仰年の講話』 開催 —— 10月27日（日） 13:30～14:30 —— ～ 信仰について 一信じるとはどういうことか ～

教区事務局長の大瀧神父様による講話が行われ、約85人が参加した。「信じるとは、恵みによって神に動かされた意志の命じるままに、神の真理に同意する知性の行為です」とカテキズム第1章の一部を読み上げた後、「では、人の自由意志はどこにあるのか?」「それは何か?」と畳みかける問い掛けに会場は大瀧師の巧みな話術に引き込まれた。人は、神の促しによって、「はい」と言った瞬間、救いに必要な賜物が全て与えられる。その人が相応しいからではなく、招きに応じて「はい」と言った瞬間に全てが整う。その繰り返しが信仰の歩みではないか、と結ばれると、息をつめて聞き入っていた会場から、吐息が漏れ、大きな拍手が湧いた。

### ■ 第2回、3回 『信仰年の講話』 開催—— 11月9日、16日（土）13:00～14:30 —— ～ あかしによる福音宣教 ～

菊地司教様による講話は2週に分けて行われ、1回目は、東日本大震災の被災地に、仙台教区の平賀司教のリーダーシップとカリタスジャパンの支援という体制のサポートセンター設置の背景や経緯を説明された。2012年に開催のシノドスで表現された『新しい福音宣教』とは、変化する状況に応え、新たな熱意と方法と表現で宣教することであり、震災の凄まじい現実の中で、日本の教会は新しい福音宣教の経験をしていると話された。続いて、2回目は、ご自身のアフリカでの司牧経験を紹介された後、福者ヨハネ23世の

回勅『地上の平和』、第二バチカン公会議『現代世界憲章』からベネディクト16世の回勅『神は愛』、教皇フランシスコの最初の司牧訪問まで概観しながら、教会である私たちが関心を寄せるのは、単に信者として信心深くあることだけでなく、現代世界のすべての人々の喜びと悲しみ、生の現実を自らのものとすることである、と強調された。

### ■ 『子供のためのミサ』 —— 11月10日（日） ——

ミサには、新潟教会をはじめ、新発田や亀田教会から、七五三を迎える子供たち約25人が出席。この日の聖堂内は、赤ちゃんがはいはいする光景もみられ、ラウル神父様が日本にいられた当初、七五三を「ナナゴサン」と読まれたお話を笑いが起き、子供たちは祝福を受けた後、お菓子の土産を手に、笑顔がいっぱいだった♪



## 《2013年12月の聖書クラス・信仰講座のご案内》

曜日	時間	内容	担当司祭
月曜日(不定期)	午前10:00～	キリスト教のQ&A	三崎神父
水曜日(毎週)	午前10:00～	聖書クラス	ラウール神父

※月曜日の「キリスト教のQ&A」は開催できない日がありますので、お問い合わせください。

※講座に参加される方は、担当司祭にご連絡ください。

### ミサ時間のご案内

† 主日(日曜日) 7時・9時半・12時※ 18時

※ 第1日曜日は英語ミサ

† 週日(金曜以外) 7時

† 金曜日 10時(第1金曜日 10時・18時)

### カトリック新潟教会 月刊「双塔」

毎月1回 最終日曜日発行

編集・発行/カトリック新潟教会

教会運営委員会広報部

〒951-8106 新潟市中央区東大畑通一番町 656

TEL: 025-222-5024 FAX: 025-222-5054

<http://www.niigatacathedral.org>